

萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？先月は現場が重なりすぎてしまい、6月号の会報誌を作成することが出来ませんでした。すみません(._.)。7月も中盤になりましたが、何

とか発行出来ました。7月に入って、夏らしい暑い季節になってきました。梅雨がまだ明けていない今頃は、雨がやむと急に熱くなって、体温調節が出来なくなります。また、クーラーの効いた部屋から、急に熱い炎天下に出ても、熱中症になり易いと言いますから注意が必要です。そして、いつも、お水と塩分の効いたアメを持って、熱中症対策して下さい。

「ヨガのワークショップ」

6月末に、ヨガのワークショップに参加してきました。日ごろ行っているヨガの知識を深めるために、ケガをしないでポーズを取れる解剖学や、ヨガの歴史などの講義を聞き、また、実技では、ポーズを深めるための呼吸法を学びました。その他、今まで苦手だったポーズを丁寧に学ぶ時間も作れて

有意義な2日間でした。また、今までやったことの無い、新ポーズをいくつかマスターすることが出来たのも良かったです。講義の最後に皆で「船のポーズ」をして記念写真を撮りました。これも結構きついです。



「オフィスビルのエントランス床石の洗浄」

今月の石材メンテナンスは、あるオフィスビルの1階エントランスのエレベーター前までのアプローチに敷いてある御影石が、経年変化の汚れで石の目が消えてしまっている現場からです。恐らく日常清掃時に、モップで全体を拭いているのが想像できます。全体的に汚れが付き均一的な汚れになっています。

こうなると、汚れも複合的になっているので、アルカリ洗浄と、酸性洗浄の2次洗浄を行いました。

まず、アルカリ洗剤を塗布し、表層に付いた、一般的な汚れを除去していきます。全体を洗浄するには、研磨剤の付いたブラシでポリッシャー洗浄をしていきます。汚水を回収後、次に、酸性洗剤を塗布して、同じように、ポリッシャー洗浄をしていきます。汚水を回収して、酸残りの無いように十分

にすすぎ洗いを行い最後にバキュームして、石を十分に乾燥させます。乾燥すると、汚れで今まで目立たなかった汚



洗浄前

れ(油シミ等)が出てきますので、部分的にシミ抜きして完了しました。石目がハッキリ出ると、カレドニアという石種の御影石と分かるようになりました。オーナー様にも満足して頂き良かったです。



左半分のみ洗浄



洗浄後

「本磨きの油抜き施工は抜けにくい」

御影石の本磨きの床石に、食用油をこぼしてしまったようで、目地伝いに濡れ色が発生しています。恐らく目地から石の小口側へも油が浸透しているようで、アルカリ洗剤+ドライヤーの繰り返しや、湿布作業でも1日間では、完全除去は難しい状態でした。本磨きの場合は、緻密な分だけ、石目深くまで入り込むと厳しいので注意が必要です。



(編集後記) 先月、車をぶつけられ愛用のハイエースから代車のバンになっています。荷物を多く詰めないため道具を仲間に借りて、現場をこなしています。そしたら、今度はハイエースのリコール発覚。いつ戻ってくるやら・・・

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp